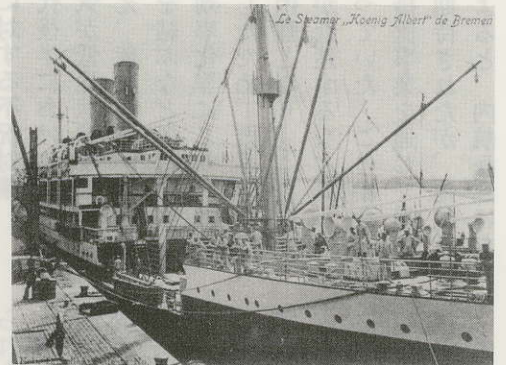
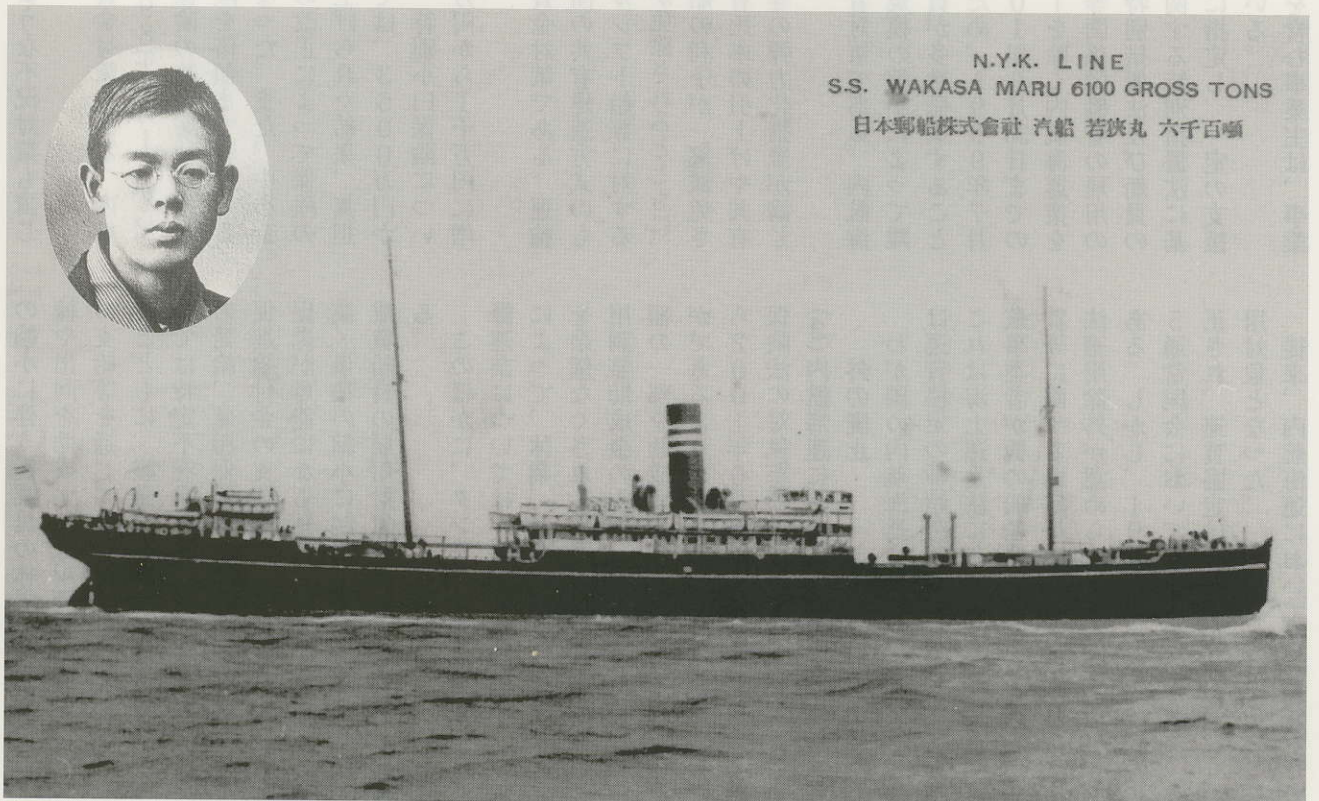


病気のためドイツ留学 を打ち切った滝廉太郎 が帰国時に乗船

文・山田迪生(日本海事史学会副会長)



ケーニヒ・アルベルト (E. Drechsel「Norddeutscher Lloyd」より)



若狭丸 (渡辺裕氏提供)。円内は滝廉太郎 (滝廉太郎記念館提供)

若狭丸

◀ 主要目 ▶ 貨客船、日本郵船所属、総トン数6,266トン、重量トン数7,940トン、垂線間長138.1メートル、幅14.5メートル、主機三連成汽機2基(2軸)、合計出力4,000馬力、最高速力14.4ノット、旅客定員1等26人、2等20人、3等192人。1897年(明治30)4月英D. W. ヘンダーソン社(グラスゴー)で竣工。同年10月欧州航路にデビュー。1909年(明治42)欧州航路から撤退し、ボンベイ航路次いで南米東岸航路に就航。1933年(昭和8)解体

往きは北ドイツ・ロイドの船で

明治日本が生んだ天才作曲家滝廉太郎の人生は、23年10か月しかなかった。

東京音楽学校（東京芸術大学音楽学部前身）で幸田延（幸田露伴の妹）に師事。明治31年（1898）7月、18歳（以下満年齢）のとき同校本科を首席で卒業し、さらに研究科に進んだ。作曲とピアノの研究のため文部省からドイツ留学を命じられたのは明治33年（1900）6月。20歳のときである。

横浜を出帆したのは翌34年4月6日。その直前に名作「荒城の月」「箱根八里」を含む『中学唱歌』が東京音楽学校から出版された。

往きの船は北ドイツ・ロイド社の「ケーニヒ・アルベルト」（1万0643総トン）であった。留学生は通常、2等を利用した。

横浜を出て、神戸、長崎、香港、シンガポール、ポートサイドなどに寄港。5月15日にジェノバに上陸し、陸路ドイツへ向かった。

2等食堂にピアノがあった。ピアノの名手でもあった滝は、毎日2時間ほど弾いた。

乗組員で編成した管弦楽団と吹奏楽団もあった。滝の客室ボーイはクラリネットを吹いた。それぞれ10人ほどの編成だが、滝が驚いたのは、彼らの演奏レベルがたいへん高いことだった。船中からの手紙に「日本唯一の音楽学校卒業生の優等者よりも遥かに技術勝り

て比較すべくもあらず」と書いている。

6月7日に留学地ライプツィヒに着き、10月1日ライプツィヒ王立音楽院に入学した。だが、11月末に体調を崩して入院し、翌年3月まで休学。同年（明治35年）7月、文部省の帰国命令を受けた。結局、ライプツィヒ生活はわずか1年余りで終わった。

土井晩翠が寄港中の滝を見舞う

無念の帰国だった。帰りの船は日本郵船の「若狭丸」である。郵船の欧州航路の始発港はベルギーのアントワープ。滝はこの港から故国へ向かった。出帆は8月24日未明。

次港はロンドン。同日夕方、船はテムズ川河口のティルベリドックに着岸した。ここで船は5泊もした。「若狭丸」は貨主客従の貨客船だから、荷役の都合による連泊だろう。ロンドン出帆は29日であった。

滝を見舞うため、ロンドン留学中の詩人土井晩翠が、宗教学者姉崎正治とともに船を訪れた。「荒城の月」を作詞した土井と、作曲した滝の、最初で最後の出会いであった。

船中のどこで会ったのだろう。2等食堂（ダイニングサロン）だろうか。室内は暑いから室外のプープデッキ（船尾甲板）で会ったのではないか。当然、「荒城の月」のことが話題になったはずだ。ちなみに「若狭丸」の2等エリアは船尾楼にあった。客室は4人部屋

（2段ベッド）。5室配置されていた。

50余日の航海ののち、「若狭丸」は10月15日に神戸到着。同17日に横浜に帰港した。ドイツ船で出航してから1年半がたち、滝は23歳になっていた。大分市内の親もとで世を去るのは、その8か月後である。

終焉の地には現在、竹田高等小学校（大分県）の後輩朝倉文夫が制作した滝の銅像がたっている。前々号の「福井丸」の文中、右述の理由から朝倉（旧姓渡辺）の出身地を竹田としたが、生まれは竹田の近くの大野郡上井田村（現・豊後大野市）である。

船の紹介が最後になってしまった。

「若狭丸」は、郵船が日清戦争後に建造した12隻シリーズの欧州航路定期船のうちの1隻である。10隻は英国、2隻は三菱長崎造船所に発注された。郵船は12隻で2週1便の定期を組んだ。12隻はマスト4本の「神奈川丸」型と、2本の「若狭丸」型の各6隻に分かれる。「若狭丸」は後者の第1船である。

明治末年に欧州航路から撤退。大正に入って南米東岸航路に転じた。南米移民を乗せるのが仕事である。「二引き」の煙突マークを付けた右頁の写真は、南米移民船時代の姿である。ちなみに、郵船がこの煙突マークを採用したのは昭和4年（1929）からだ。

昭和6年（1931）南米東岸航路から撤退。2年後解体され、36年の生涯を閉じた。